

令和 2 年 9 月 5 日
水 管 理 ・ 国 土 保 全 局
気 象 庁

台風第 10 号の今後の見通し（進路・暴風・河川の増水・氾濫など）について

大型で非常に強い台風第 10 号は、今後特別警報級の勢力まで発達して、6 日午前に沖縄地方へ 6 日午後に奄美地方に接近する見込みです。その後も特別警報級の勢力を維持したまま北上を続け、6 日午後から 7 日にかけて九州に接近または上陸するおそれがあります。

9 月 5 日 14 時現在の台風第 10 号の今後の見通しや留意事項について別添の通りお知らせいたします。

問い合わせ先			
国土交通省水管理・国土保全局河川環境課			
代表	03-5253-8111	直通	03-5253-8448
F A X	03-5253-1603		
気象庁予報部予報課			
代表	03-3212-8341	直通	03-3211-8303
F A X	03-3211-8303		

台風第10号の今後の見通し（進路・暴風・河川の増水・氾濫など）について



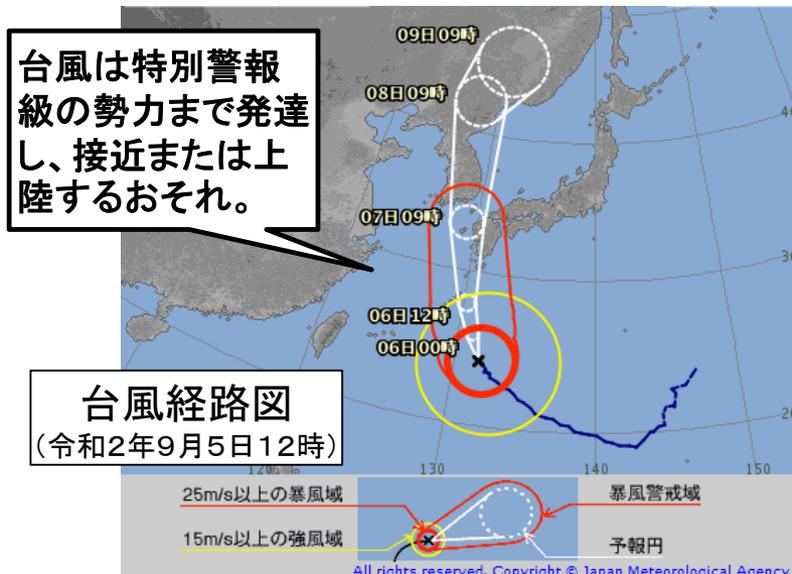
台風第10号の今後の気象見通しについて

9月5日
14時時点の資料

大型で非常に強い台風第10号は、今後特別警報級の勢力まで発達して、6日午前には沖縄地方へ6日午後には奄美地方に接近する見込みです。その後も特別警報級の勢力を維持したまま北上を続け、6日午後から7日にかけて九州に接近または上陸するおそれがあります。台風が接近する地域では、記録的な大雨・暴風・高波・高潮となるおそれがあり最大級の警戒が必要です。

気象庁の発表する最新の台風情報や危険度分布などの気象情報に留意するとともに、各地の気象台の発表する早期注意情報や警報・注意報などの気象情報に留意し、自分の命、大切な人の命を守るため、風雨が強まる前に、夜間暗くなる前に、市町村の避難勧告等に従って、早め早めの避難、安全確保をお願いいたします。

※お住まいの場所が安全な場所か否かハザードマップなどで改めて確認し、安全ならば自宅内での安全確保を、危険な場合は指定された避難場所への移動のほか、安全な親戚・知人宅等への移動も考えてください。新型コロナウイルス感染の懸念もありますが、危険な場所にいる人は自宅の外への避難をためらわないでください。



【台風の見通し】

大型で非常に強い台風第10号は、5日12時現在、南大東島の南にあって北西に進んでいます。今後、次第に北よりに進路を変えて、特別警報級の勢力まで発達し、6日午前には沖縄地方へ6日午後には奄美地方に接近する見込みです。その後も特別警報級の勢力を維持したまま北上を続け、6日午後から7日にかけて九州に接近または上陸するおそれがあります。

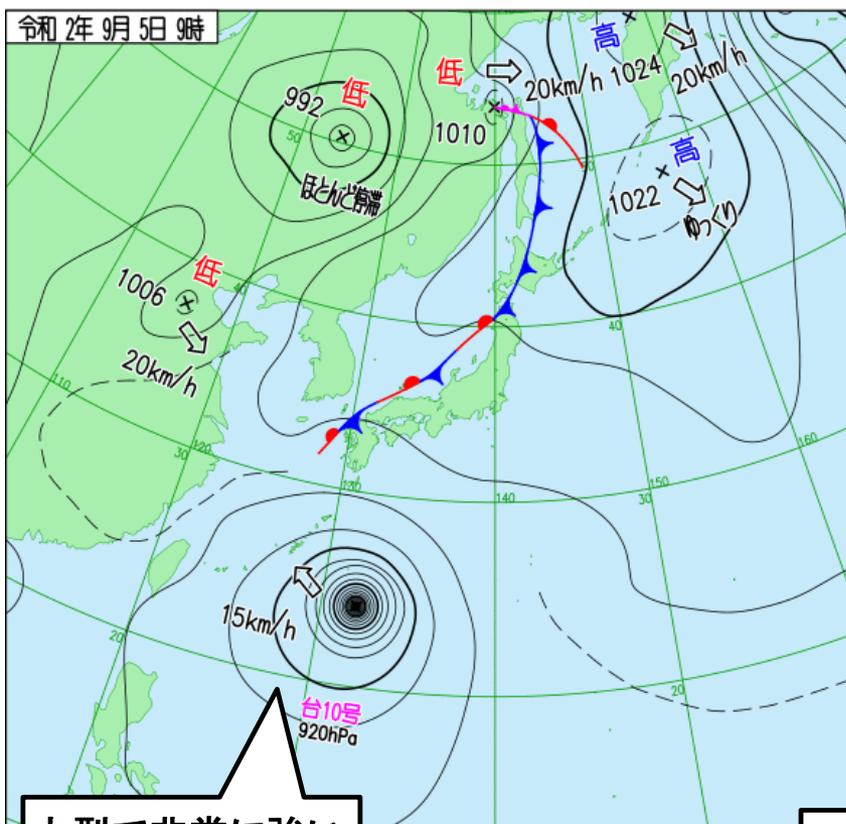
台風の接近に伴う河川の増水・氾濫に警戒

9月5日
14時時点の資料

- 今後、台風に伴う大雨による河川の増水・氾濫や、高潮による海岸・河口付近の浸水・冠水のおそれがあります。
- 九州では、国管理河川の大きな河川を含め多くの河川で現状の整備水準を超える規模の雨量が予測されており、氾濫の危険性が高まっています。また、他の地方でも河川が氾濫するおそれがあります。
- 市町村が作成している洪水ハザードマップなどを早いうちに確認し、浸水の可能性や避難する場所・経路等を把握するとともに、避難への備えを行ってください。
※洪水ハザードマップのもととなる洪水浸水想定区域では、想定される最大浸水深のほか、氾濫流による家屋の倒壊が想定される区域などがご覧になれます。
- 台風の接近する地域では、河川の増水等の際には、暴風により移動できなくなることも考えられるため、風が強くなる前に安全なところへ避難するなど早めに身の安全を確保してください。
- 河川の水位や危険性の情報を「川の防災情報」や「危険度分布」「ハザードマップポータルサイト」などで確認することができます。(国土交通省・気象庁等のHP参照)
- 気象・河川の情報や市町村の避難情報に留意し、早めの行動に心がけてください。

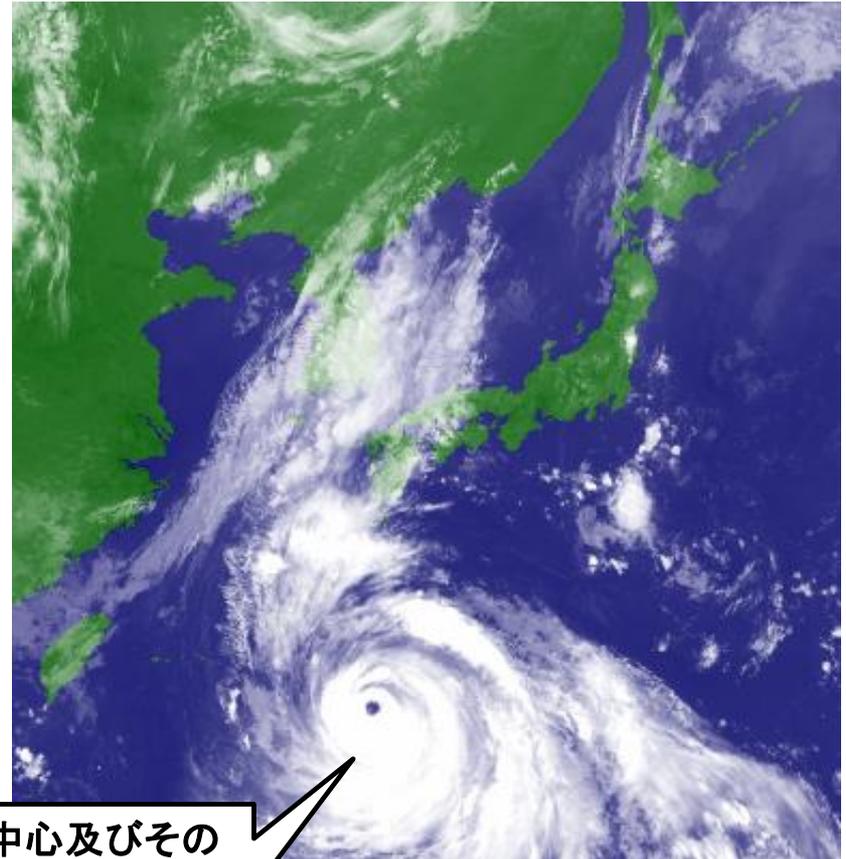
天気図と衛星画像

9月5日
14時時点の資料



大型で非常に強い
台風第10号は、
南大東島の南を北
西に進んでいる。

5日9時
天気図



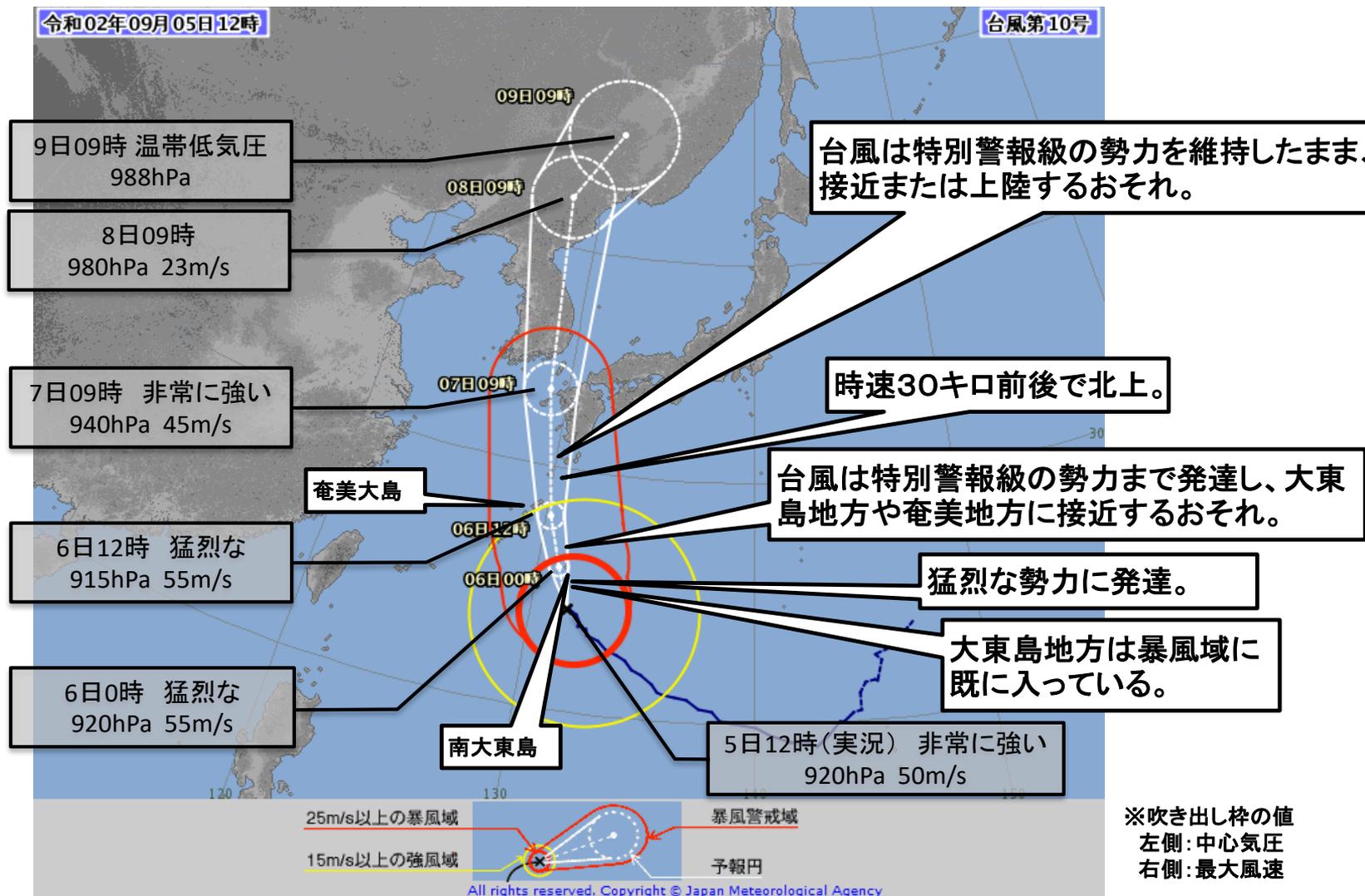
台風を中心及びその
周辺には発達した雨
雲が見られ、台風
の眼が形成されてい
る。

5日12時00分
衛星画像(赤外)

今後の予想を含めた最新の情報は各地の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(天気図: <https://www.jma.go.jp/jp/g3/index.html>)
(衛星画像: <https://www.jma.go.jp/jp/gms/>)

台風の進路予想

9月5日
14時時点の資料



台風第10号の進路予想図(5日12時)

今後の予想を含めた最新の情報は、各地の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(台風情報：<https://www.ima.go.jp/ip/typh/>)

大雨・暴風・高波・高潮の今後の見通し（1）

9月5日
14時時点の資料

○沖縄地方

大東島地方では**猛烈な風**や**猛烈なしけ**となっており、6日昼前まで**猛烈な風**が続く見込み。沖縄本島地方でも6日は**暴風**や**猛烈なしけ**となる見込み。大東島地方と沖縄本島地方ではこれから6日にかけて**警報級の大雨**のおそれ。

○九州南部・奄美地方、九州北部地方

6日から7日にかけて**猛烈な風**が吹き、**猛烈なしけ**となる見込み。**警報級の大雨**のおそれ。

○四国地方、中国地方、近畿地方、東日本太平洋側

6日から8日は**警報級の高波**、四国・中国・近畿地方では**暴風**のおそれ。太平洋側を中心に7日頃にかけて**警報級の大雨**のおそれ。

【大雨の見通し】（単位：ミリメートル）

地域	5日12時～6日12時の 24時間雨量	6日12時～7日12時の 24時間雨量	7日12時～8日12時の 24時間雨量
関東甲信地方	100	100～150	200～300
東海地方	80	300～400	300～500
近畿地方	80	200～300	100～200
中国地方	60	50～100	100～200
四国地方	60	300～500	200～300
九州北部地方	80	300～500	100～200
九州南部	100	400～600	100～150
奄美地方	150	300～400	およそ50
沖縄地方	300	100～150	およそ50

【暴風・高波の見通し(台風最接近前)】（単位(風):メートル毎秒 (波):メートル)

地域	6日		7日	
	最大風速 (最大瞬間風速)	波の高さ	最大風速 (最大瞬間風速)	波の高さ
東海地方	15 (25)	6	15～19 (20～30)	6
近畿地方	15 (25)	6	20～24 (25～35)	7
中国地方	18 (30)	1	25～29 (35～45)	6
四国地方	20 (30)	9	20～24 (25～35)	10
九州北部地方	25 (35)	9	40～50 (55～70)	10
九州南部	45 (65)	14	40～50 (55～70)	12
奄美地方	55 (80)	14	30～40 (40～60)	11
沖縄地方	55 (80)	14	10未満	6

日時	5日 12～18	6日 18～6	6日 6～24	7日	8日
関東甲信地方					
伊豆諸島					
東海地方					
近畿地方					
中国地方					
四国地方					
九州北部地方					
九州南部					
奄美地方					
沖縄地方					

大雨、暴風、波浪、高潮の警報級となる
可能性のある期間（5日11時時点）
（■可能性がある、■可能性が高い）

※最新の「早期注意情報」等をご確認ください！

大雨・暴風・高波・高潮の今後の見通し（2）

9月5日
14時時点の資料

【高潮の見通し】

台風が接近する地域では、記録的な高潮となるおそれがあります。

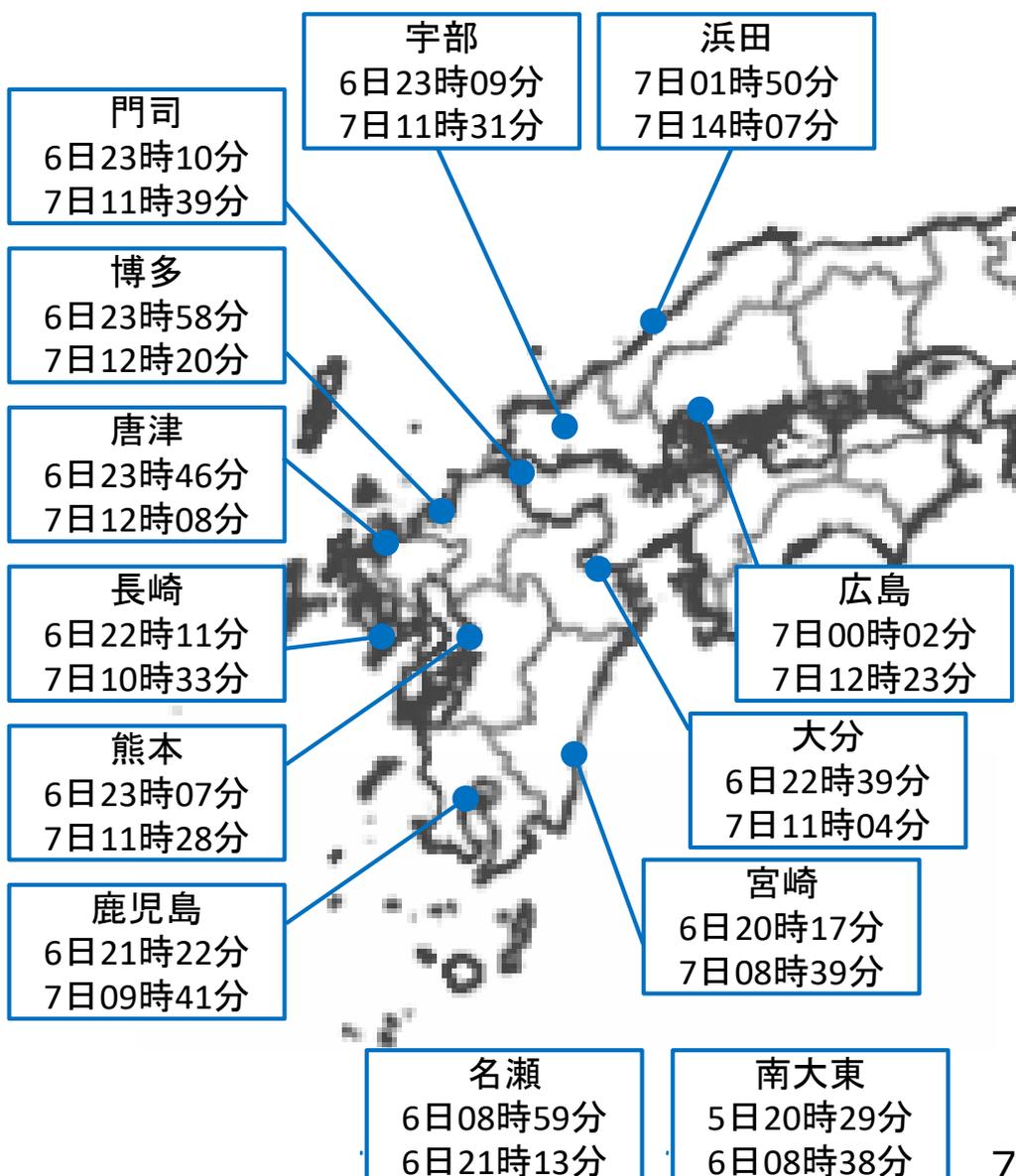
沖縄地方では6日にかけて、奄美地方では6日、九州南部や九州北部地方や四国地方では6日から7日にかけて、中国地方では7日から8日にかけて潮位が高くなる見込みです。

潮位が高くなった場合、海岸や河口付近の低地では浸水や冠水のおそれがあります。なお、潮位が堤防を越えなくても、潮位が高い中で高波があると、波が海岸堤防を越えて浸水するおそれもあります。高潮や、高潮と重なった波浪による浸水などにも最大級に警戒してください。

【その他の注意警戒事項】

台風から離れた地域でも、竜巻などの激しい突風や落雷に注意してください。発達した積乱雲の近づく兆しがある場合には建物内に移動するなど、安全確保に努めてください。

【満潮時刻】



河川と雨量の見通し

9月5日
14時時点の資料

河川	計画規模降雨 (河川整備基本方針)		7日12時までの 24時間雨量の見通し (多いところで)	
	流域平均雨量	継続時間		
せんだいがわ 川内川	286 mm	12時間	九州 南部	400 ~ 600ミリ
きもつきがわ 肝属川	490 mm	2日		
ごかせがわ 五ヶ瀬川	352 mm	12時間		
おまるがわ 小丸川	447 mm	9時間		
おおよどがわ 大淀川	458 mm	24時間		
くまがわ 球磨川	262 mm	12時間	九州 北部	300 ~ 500ミリ

以下 補足資料

段階的に発表される防災気象情報の活用例



「避難勧告等に関するガイドライン」(内閣府)に基づき気象庁において作成

※1 夜間～翌日早朝に大雨警報(土砂災害)に切り替える可能性が高い注意報は、避難準備・高齢者等避難開始(警戒レベル3)に相当します。

※2 暴風警報が発表されている際の高潮警報に切り替える可能性が高い注意報は、避難勧告(警戒レベル4)に相当します。

暴風による災害への備え

- 暴風が実際に吹き始めてからでは、屋外での行動は命に危険が及びます。
- 特に土砂災害や洪水、高潮のおそれがある区域では、風雨が強まる前の早めのタイミングで対応をとることが重要です。
- 風雨が強まるタイミングは、市町村毎に発表される警報・注意報で確認することができます。

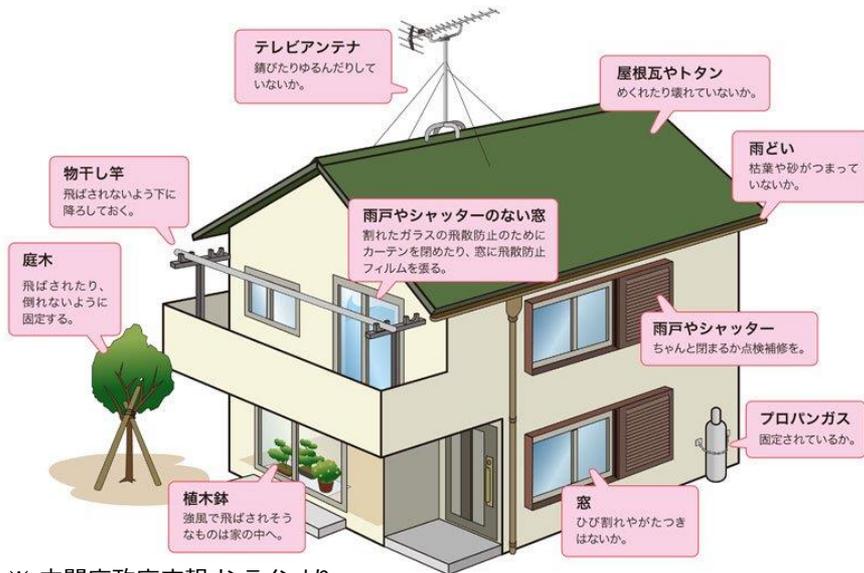
発表中の警報・注意報等の種別		今後の推移 (■警報級 ■注意報級)									備考・関連する現象
		○○日			○○日			○○日			
風向	風速(矢印・メートル)	3-6	6-9	9-12	12-15	15-18	18-21	21-24	0-3	3-6	以後も注意報級
		陸上	3	10	15	20	25	20	13	10	
海上	0	12	20	25	35	30	15	10	10		

暴風警報

陸上では昼過ぎから風速20メートル

平均風速 (m/s) おおよその時速	人への影響 走行中の車	屋外・樹木の様子	建造物	おおよその瞬間風速 (m/s)
20~25 ~約90km/h	何かにつかまっていられないと立っていられない。飛来物によって負傷するおそれがある。	細い木の幹が折れたり、根の張っていない木が倒れ始める。看板が落下・飛散する。道路標識が傾く。	屋根瓦・屋根葺材が飛散するものがある。固定されていないプレハブ小屋が移動、転倒する。	30
25~30 ~約110km/h			養生の不十分な仮設足場が崩落する。	40
30~35 ~約125km/h				

〈風が強まる前の家の対策〉



※ 内閣府政府広報オンラインより。

35~40 ~約140km/h	走行中のトラックが横転する。	多くの樹木が倒れる。電柱や街灯で倒れるものがある。ブロック壁で倒壊するものがある。	外装材が広範囲にわたって飛散する。	50
40~ 約140km/h			住家で倒壊するものがある。鉄骨構造物で変形するものがある。	60

※ 平均風速は10分間の平均、瞬間風速は3秒間の平均です。

※ 人や物への影響は日本風工学会の「瞬間風速と人や街の様子との関係」を参考に作成しています。

※ 詳細は気象庁ホームページを御確認ください。(https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/amekaze/amekaze_index.html)

(参考) 近年の主な暴風による災害

平成30年台風第21号

- ▶ 大阪府田尻町関空島（関西空港）では最大風速46.5メートル、最大瞬間風速58.1メートルを観測。
↓
- ▶ 死者14人、負傷者980人、住家全壊68棟、半壊833棟、一部損壊97,009棟等の被害が発生。
※総務省消防庁とりまとめ（令和元年8月20日現在）
- ▶ タンカーが走錨し、関西国際空港連絡橋に衝突したことにより、空港へのアクセスが制限されるなど、人流・物流等に甚大な影響が発生。
※荒天時の走錨等に起因する事故の再発防止に係る有識者検討会 報告書（平成31年3月）
- ▶ 近畿地方を中心に最大停電戸数約224.7万軒の大規模停電が発生した。
※台風21号による停電について（第56報）関西電力（平成30年9月10日）

令和元年房総半島台風

- ▶ 千葉県千葉市では最大風速35.9メートル、最大瞬間風速57.5メートルを観測。
↓
- ▶ 千葉県を中心に、住家全壊391棟、半壊4,204棟、一部損壊72,279棟等の被害が発生。
※総務省消防庁とりまとめ（令和元年12月23日現在）
- ▶ 鉄塔2基の倒壊、1,996本の電柱が倒壊・損傷により、千葉県を中心に最大停電戸数約93.5万軒の大規模停電が発生した。
※令和元年台風15号における鉄塔及び電柱の損壊事故調査検討ワーキンググループ<中間報告書>（令和2年1月21日）



令和元年房総半島台風
(経済産業省提供資料)



平成30年台風第21号
(海上保安レポート2019より)



令和元年房総半島台風
(気象庁職員撮影)

高波・高潮による災害への備え

- ▶ 台風の接近に伴い、沿岸では命に危険を及ぼすような高波や高潮のおそれがあります。特に、高潮で潮位が高くなっている時は、普段は波が来ないようなところまで波が押し寄せることがあります。むやみに海岸には近付かないください。
- ▶ 高波や高潮に警戒が必要なタイミングは、市町村毎に発表される警報・注意報で確認することができます。
- ▶ 暴風が実際に吹き始めてからでは、屋外での行動は命に危険が及ぶため、特に高潮時に浸水のおそれがある区域では、風雨が強まる前のタイミングで対応をとることが重要です。

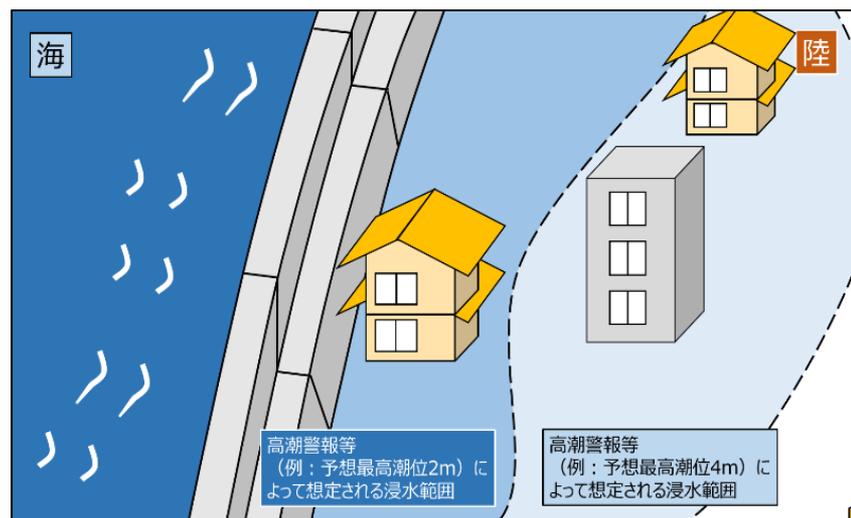
波浪・高潮注意報等で今後の推移について確認

〇〇市		今後の推移(■警報級 ■注意報級)										備考・ 関連する現象
発表中の 警報・注意報等の種別		4日					5日					
		3-6	6-9	9-12	12-15	15-18	18-21	21-24	0-3	3-6		
大雨	1時間最大雨量 (ミリ)	0										浸水注意
	(浸水害) (土砂災害)											
暴風	風向風速 (矢印・メートル)	陸上	12	14	20	35	35	18	15	12	12	浸水注意
	海上	15	18	25	40	40	28	20	15	15		
波浪	波高 (メートル)	1.5	2	3	4	4	2	2.5	1.5	1.5	予想される波の高さ	
高潮	潮位 (メートル)	0.4	0.4	0.8	2.8	2.8	2.2	1.5			予想潮位(高潮の高さ) ピークは4日16時頃	
雷												竜巻

※潮位が上昇する前に強い風が吹く予想

※高潮や高潮と重なり合った高波による浸水に警戒

高潮時に浸水のおそれがある区域



高波や高潮による災害の事例



(参考) 過去の主な高潮による災害

伊勢湾台風 (昭和34年)

- 伊良湖(愛知県渥美町)では最大風速45.4メートル、最大瞬間風速55.3メートルを観測。名古屋港では潮位389cmを観測。
- 死者4,697名、行方不明者401名、負傷者38,921名、住家全壊40,838棟、半壊113,052棟、床上浸水157,858棟、床下浸水205,753棟等の被害が発生。 ※消防白書より
- 紀伊半島沿岸一帯と伊勢湾沿岸では高潮、強風、河川の氾濫により甚大な被害を受け、特に愛知県では、名古屋市や弥富町、知多半島で激しい暴風雨の下、高潮により短時間のうちに大規模な浸水、三重県では桑名市などで同様に高潮の被害を受けた。

平成11年 (1999年) 台風第18号

- 牛深(熊本県牛深市)では最大風速27.7メートル、最大瞬間風速66.2メートルを観測。大浦(佐賀県)では潮位301cmを観測。
- 死者31名、負傷者1,218名、住家全壊338棟、半壊3,629棟、床上浸水4,895棟、床下浸水14,755棟等の被害が発生。 ※消防白書より
- 九州北部地方や中国地方瀬戸内海沿岸では、台風が通過時に著しい高潮となり、熊本県不知火町では高潮により12名が死亡した。



伊勢湾台風

(出典：国土交通省木曾川下流工事事務所『自然と人のかかわり－伊勢湾台風から40年－』)



平成11年 (1999年) 台風第18号

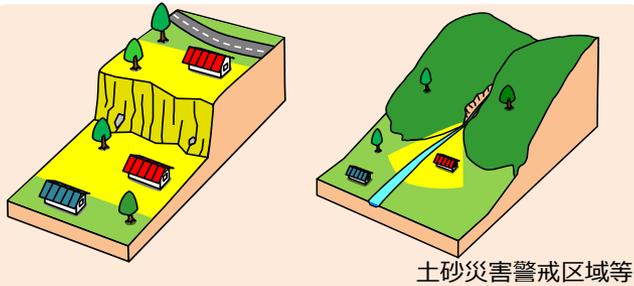
(出典：建設省九州地方建設局)

大雨による災害への備え

- ハザードマップ等により、土砂災害警戒区域や浸水想定区域等の命に危険が及ぶおそれがある場所をあらかじめ確認しましょう。
- 土砂災害・浸水害・洪水災害の危険度がどこで高まる予測となっているかを「危険度分布」の地図で確認することができます。
- 大雨により命に危険が及ぶおそれがある場所では、風雨が強まる前の早めのタイミングで対応をとることが重要です。風雨が強まるタイミングは、市町村毎に発表される警報・注意報で確認することができます。

命に危険が及ぶおそれがある場所

土砂災害



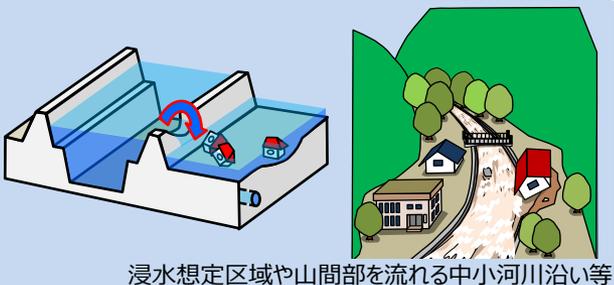
土砂災害警戒区域等

浸水害



住宅の地下室や道路のアンダーパス等

洪水災害



浸水想定区域や山間部を流れる中小河川沿い等

危険度分布



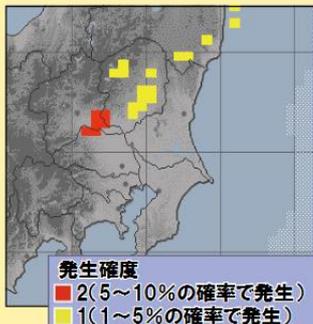
災害の例



突風や雷による災害への備え

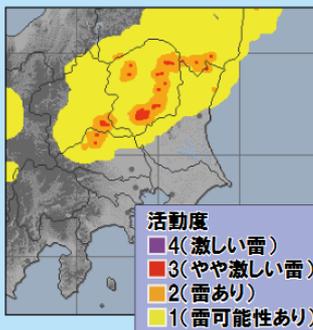
- ▶ 台風から離れた地域でも、竜巻などの激しい突風や落雷に注意が必要。
- ▶ 竜巻発生確度ナウキャストや雷ナウキャストなどの防災気象情報を活用し、発達した積乱雲の近づく兆しがある場合には身を守るための行動を。

竜巻発生確度ナウキャスト



竜巻などの激しい突風のおそれがある場所や確率を表します。

雷ナウキャスト



雷の起きる場所や激しさを表します。

「竜巻」が間近に迫ったら・・・

すぐに身を守るための行動をとってください!

屋外では 頑丈な構造物の物陰に入って、身を小さくする。

屋外では 物置や車庫・プレハブ(仮設建築物)の中は危険。

屋外では シャッターを閉める。

屋内では 家の1階の窓のない部屋に移動する。

屋内では 窓やカーテンを閉める。

屋内では 窓から離れる。大きなガラス窓の下や周囲は大変危険。

屋外では 電柱や太い樹木であっても倒壊することがあり、危険。

屋内では 丈夫な机やテーブルの下に入るなど、身を小さくして頭を守る。

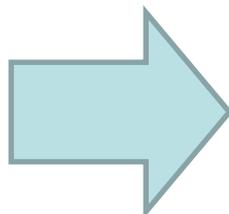
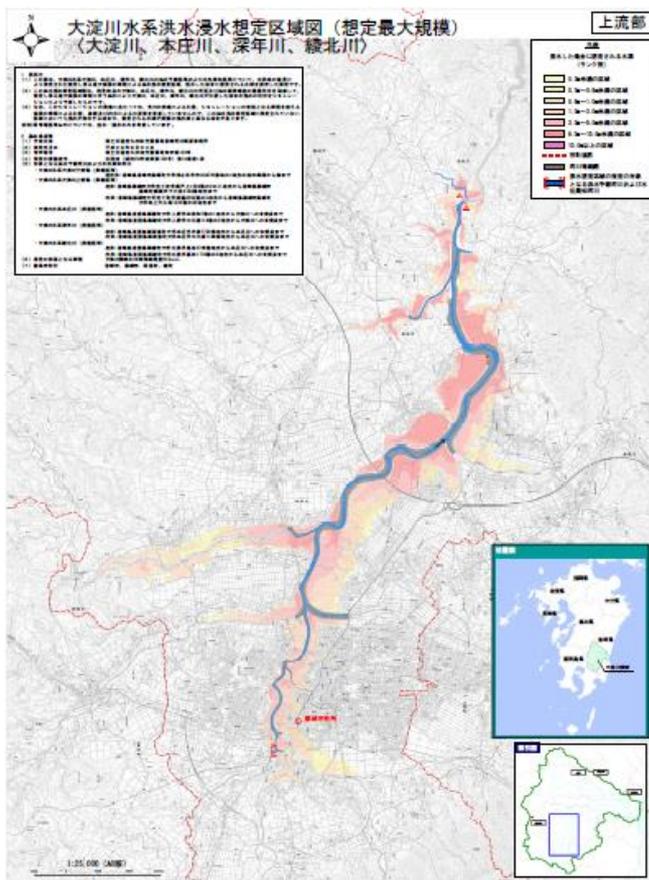
日本版改良藤田スケールにおける階級と風速の関係

階級	風速 (3秒平均)	主な被害の状況 (参考)
JEF0	25~38m/s	<ul style="list-style-type: none"> 物置が横転する。 自動販売機が横転する。 樹木の枝が折れる。
JEF1	39~52m/s	<ul style="list-style-type: none"> 木造の住宅の粘土瓦が比較的広い範囲で浮き上がったりはく離する。 軽自動車や普通自動車が横転する。 針葉樹の幹が折損する。
JEF2	53~66m/s	<ul style="list-style-type: none"> 木造の住宅の小屋根(屋根の骨組み)が損壊したり飛散する。 ワンボックスの普通自動車や大型自動車が横転する。 鉄筋コンクリート製の電柱が折損する。 墓石が転倒する。 広葉樹の幹が折損する。
JEF3	67~80m/s	<ul style="list-style-type: none"> 木造の住宅が倒壊する。 アスファルトがはく離したり飛散する。
JEF4	81~94m/s	<ul style="list-style-type: none"> 工場や倉庫の大規模な庇の屋根ふき材がはく離したり脱落する。
JEF5	95m/s~	<ul style="list-style-type: none"> 低層鉄骨系プレハブ住宅が著しく変形したり倒壊する。

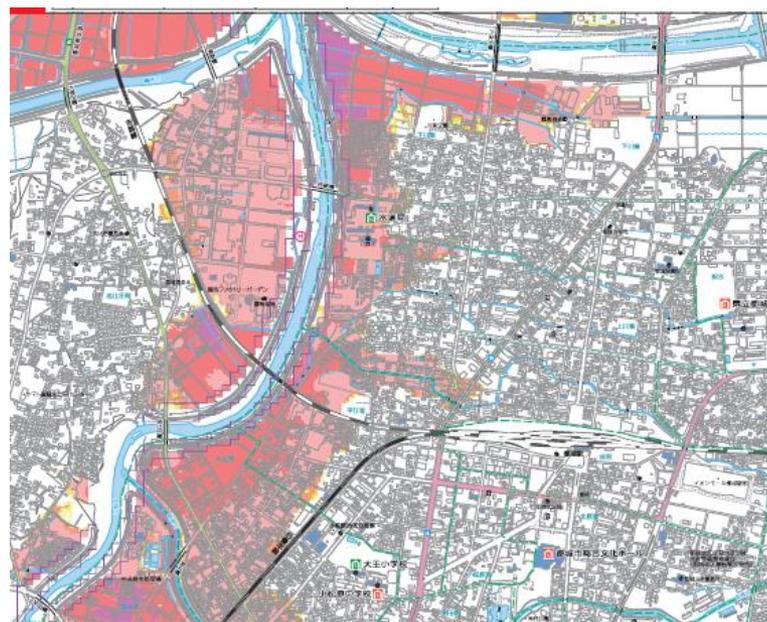
洪水浸水想定区域と洪水ハザードマップ

- 国土交通大臣又は都道府県知事が洪水浸水想定区域を指定・公表
- 市町村長がこれを基に洪水予報等の伝達方法や避難場所等も記した洪水ハザードマップを作成・周知

＜大淀川洪水浸水想定区域図(国土交通省)＞



＜洪水ハザードマップ(都城市中心部)＞



洪水ハザードマップ
作成済みの市町村数
1,333

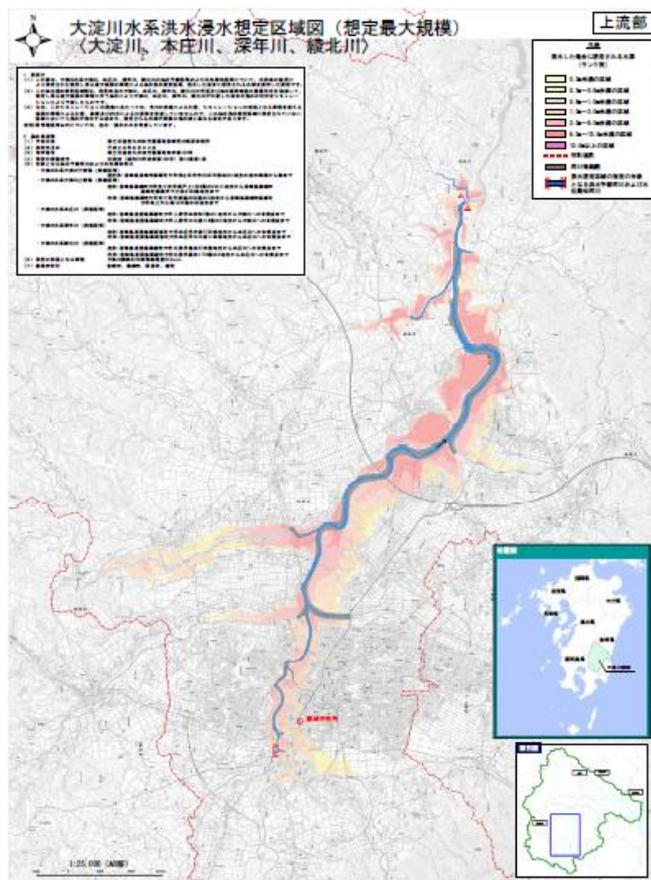


- ＜洪水ハザードマップの周知＞
- 市町村地域防災計画に以下を位置づけ、
洪水浸水想定区域とあわせて住民等に周知
- ✓ 洪水予報及び水位到達情報の伝達方法
 - ✓ 避難施設その他の避難場所及び避難路その他の避難経路に関する事項
 - ✓ 避難訓練の実施に関する事項
 - ✓ 浸水想定区域内にある地下街等、要配慮者利用施設、大規模工場等の名称及び所在地 等

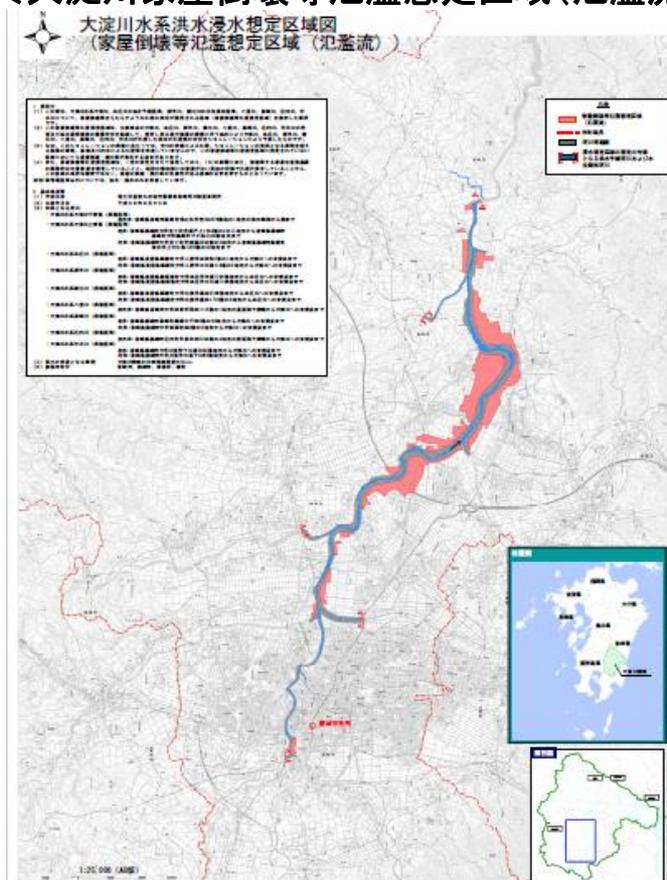
洪水浸水想定区域と家屋倒壊等氾濫想定区域

- 国土交通大臣又は都道府県知事が洪水浸水想定区域を指定・公表
- 「家屋倒壊等氾濫想定区域」は、堤防沿いの地域等において、洪水時に家屋が倒壊するような激しい氾濫流等が発生するおそれが高い区域。
- この区域では、洪水時には避難勧告等に従って安全な場所に確実に立退く必要がある。

＜大淀川洪水浸水想定区域図(国土交通省)＞



＜大淀川家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)＞



関連資料の掲載場所

今後の予想を含めた最新の情報は、以下からご利用ください。

- 気象警報・注意報（大雨、洪水、暴風（雪）、波浪、高潮、大雪などによる災害への警戒・注意を呼びかける）
<https://www.jma.go.jp/jp/warn/>
- 危険度分布（どこで土砂災害、浸水害、洪水の危険度が高まると予測されているかを地図上で表示）
 - 土砂災害 <https://www.jma.go.jp/jp/doshamesh/>
 - 浸水害 <https://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/inund.html>
 - 洪水 <https://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/flood.html>
- 各地の気象情報（気象概況や大雨の見通し）
<https://www.jma.go.jp/jp/kishojoho/>
- 台風情報（台風の位置・強さ・速度などの解析・予報、大雨や暴風の見通し）
<https://www.jma.go.jp/jp/typh/>
https://www.jma.go.jp/jp/typh/typh_text.html
- 指定河川洪水予報（国や都道府県の管理する主な河川の氾濫の危険度を予測）
<https://www.jma.go.jp/jp/flood/>
- 土砂災害警戒情報（命に危険が及ぶ土砂災害の発生が切迫したときに厳重な警戒を呼びかける）
<https://www.jma.go.jp/jp/dosha/>
- 最新の気象データ（雨雲の動き、レーダー・ナウキャスト（降水・雷・竜巻）、今後の雨、雨や風の観測データ、衛星画像）
<https://www.jma.go.jp/jp/highresorad/>
<https://www.jma.go.jp/jp/radnowc/>
<https://www.jma.go.jp/jp/kaikotan/>
https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/mdrr/pre_rct/index24_rct.html
https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/mdrr/wind_rct/index_mxwsp.html
<https://www.jma.go.jp/jp/gms/>
- 14か国語による防災気象情報の提供
<https://www.jma.go.jp/jma/kokusai/multi.html>
- 避難行動判定フロー・避難情報のポイント（内閣府（防災担当））
http://www.bousai.go.jp/oukyu/hinankankoku/h30_hinankankoku_guideline/pdf/campaign.pdf
- 新型コロナウイルス感染症が収束しない中での避難について（内閣府（防災担当）・消防庁）
<http://www.bousai.go.jp/pdf/colonapoint.pdf>



気象庁HPのバナーをご利用ください。



気象庁防災情報
Twitter

[@JMA_bousai](https://twitter.com/JMA_bousai)

気象庁公式の防災情報アカウントを開設しました。台風接近や大雨のおそれがある場合等に、現況や今後の見通し、防災上の留意点、緊急会見の内容等を解説します。

ハザードマップポータルサイト

- 国土交通大臣又は都道府県知事が洪水浸水想定区域を指定・公表
- 「家屋倒壊等氾濫想定区域」は、堤防沿いの地域等において、洪水時に家屋が倒壊するような激しい氾濫流等が発生するおそれが高い区域。
- 災害から命を守るためには、身のまわりにどんな災害が起きる危険性があるのか、どこへ避難すればよいのか、事前に備えておくことが重要。
- 国土交通省では、防災に役立つ様々なリスク情報や全国の市町村が作成したハザードマップを、より便利により簡単に活用できるようにするため、ハザードマップポータルサイトを公開中。
- この区域では、洪水時には避難勧告等に従って安全な場所に確実に立退く必要がある。

重ねるハザードマップ（平成26年6月～） 防災に役立つ様々なリスク情報を1つの地図上に重ねて表示

重ねるハザードマップ
～災害リスク情報などを地図に重ねて表示～

洪水・土砂災害・津波のリスク情報、避難防災情報、土地の特徴・盛り立ちなどを地図や写真に自由に重ねて表示できます。

地図を見る

場所を入力
例：茨城県つくば市北郷1丁目

ピクトグラムから選択

表示する情報を選ぶ

- 洪水(想定最大規模)
- 洪水(計画規模)はこちら
- 津波
- 土砂災害
- 道路防災情報
- 避難防災情報

重ねたい情報をパネルから選択

洪水浸水想定
土砂災害警戒区域等
津波浸水想定
道路防災情報
洪水浸水想定+道路防災情報

わがまちハザードマップ（平成19年4月～） 全国各市町村のハザードマップを検索

わがまちハザードマップ
～地域のハザードマップを入手する～

各市町村が作成したハザードマップへリンクします。地域ごとの様々な種類のハザードマップを閲覧できます。

すぐに見る

まちを選ぶ
都道府県 | 市区町村

①市区町村名を選択

②ハザードマップの種類を選択

- 洪水ハザードマップ
インターネットで公開している。公開URLを開く
- 内水ハザードマップ
インターネットで公開している。公開URLを開く
- 高潮ハザードマップ
インターネットで公開している。公開URLを開く
- 津波ハザードマップ
インターネットで公開している。公開URLを開く
- 土砂災害ハザードマップ
インターネットで公開している。公開URLを開く
- 火山ハザードマップ

洪水ハザードマップ
土砂災害ハザードマップ
津波ハザードマップ
高潮ハザードマップ
火山防災マップ

ハザードマップポータルサイト <https://disaportal.gsi.go.jp/>

ハザードマップ

検索

